

熊谷東中学校だより
第5号

東雲

令和元年9月26日発行

＜学校教育目標＞

志高く 優しさのある生徒
自ら学び考える生徒
たくましく生きる生徒

笑顔・志・本気を合言葉に、生徒が自分と自分の学校に日本一の誇りを持って卒業することができる学校をつくる

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気に返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動

減

テレビの時間を減らします。

減

ゲームの時間を減らします。

減

スマートフォン・携帯電話やパソコンに費れる時間を減らします。

熊谷市立熊谷東中学校長 原口 政明

動と静のメリハリをつけ、「やるでやる」生徒を育みます

24日のラグビーワールドカップでの感動、まだ残っています。まさに、一生に一度の感動を味わうことができました。多くの報道機関にも取り上げていただきました。がっ中の誇りがまた一つできました。体育祭での躍動、部活動での好成績、英語ラウンドシステムの全国発信などに続く、本校のイメージアップにつながる取組でした。このようなダイナミックな生徒の笑顔あふれる「動」の学びが展開されています。これが、「授業を楽しむ」姿です。

一方、無言膝つき清掃、朝読書、集会での無言集合、自転車や履物そろえなどの沈黙考し、活動に集中する「静」の学びも、がっ中の誇りとなっています。これが、「平凡を非凡に努める」姿です。

この「動」と「静」の学びは、皆様からお褒めの言葉をいただくことの多い取組となっています。しかし、この「動」と「静」の学びをつなぐ場面で、生徒の気づきを強く望むようになっていきます。たとえば、規律ある授業の後の休み時間の廊下右側通行の場面、急いで給食の準備に取り掛かる場面、部活動を終えて下校する場面など、「動」から「静」へ、あるいは「静」から「動」へ気持ちを切り替える時に、まだまだ気づきが足りないところがあります。ワールドカップ観戦時を例にすれば、ハーフタイム中の他校との交流、仮設階段の上り下りなどで、「静」であるべき時にも「動」である場面を見受けました。余りにも立派ながっ中の「動」と「静」の活動が展開されているだけに、「動」と「静」をつなぐ場面での動きを残念に感じています。ほんのちょっとした気づきで、「自己を調整する力」は生まれます。集団の場で営まれる学校生活をより充実させるために、「動」と「静」をつなぐ活動場面を大切にしていきたいと思っています。

私は、小学校の先生方に、どんな場面でも「人の話を黙って聞ける」ようにして中学校に子どもを送り出してほしいとお伝えしています。「動」と「静」のメリハリをつけ、自らを律して主体的に行動する「やるでやる」姿を望んでいます。これは、大人社会でも当たり前のことですが、なかなかできないことです。このちょっとした気づきを高めると、さらに、がっ中や生徒の「動」と「静」の活動に磨きがかかってくると思います。

『動と静のメリハリをつけ、「やるでやる」生徒を育みます』を本校の指導の重点・努力点に掲げています。ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。

＜お知らせ＞

夏休み前から始まったトイレ工事ですが、現在、北校舎が使用可能となっています。南校舎の工事はあと1ヶ月半ほどかかりますが、管理棟のトイレ改修がまもなく終わりますので、3年生を中心に使用してください。

新しいトイレは広く、明るくなりました。また、トイレの清掃の仕方も変わりました。いつまでも清潔であるよう、大切に使用してください。



熊谷東中歳時記（8～9月）

2年生が職場体験学習を行いました。

夏休み明けの8月26日（月）から28日（水）にかけて（事業所によっては29日まで）、職場体験学習を行いました。飲食業、販売業、教育関係など様々な業種から50ヶ所以上の事業所に協力いただき実施できました。2年生146名にとってはたいへん貴重な体験となりました。



第59回体育祭・・・We get the best Victory！

9月14日（土）に行われた第59回体育祭は、天候にも恵まれ、たくさんの来賓・保護者の方からの応援をいただき、大盛況の中開催されました。実行委員長の久保くんの気持ちのこもったあいさつ、力強い選手宣誓で幕を開けた体育祭でしたが、競技はさらに熱く、緊張感のあるものとなりました。3年生の長縄、2年生の全員リレーなどではほんのわずかな差で順位が決まりました。こうした先輩方の熱い戦い・思いが、伝統となってこれからも引き継がれていくのだと思います。

それぞれのクラスがそれぞれのVictoryを手にいれました。各クラスの目は、早くも東雲祭（合唱コンクール）に向いているようです。今回築いたクラスの絆を存分に発揮して、次もがんばってください。



教育実習を行いました。

9月9日（月）から2週間、後期教育実習生として北村祐太先生が1年3組を中心に実習を行いました。2週間という短い間でしたが、社会科の授業だけでなく、給食や清掃など様々な活動を生徒とともに行いました。実習期間中には体育祭もあり、行事に一生懸命取り組む

1年生の姿に感激していました。また、17日（火）から3日間、伊澤真由美さん、田中麻友美さんが看護実習を行いました。それぞれの学年の授業を参観し、中学生の3年間の子どもの成長の様子を実感していました。実習生には、今回の経験を生かし、今後、先生・看護師として活躍してほしいと思います。



ラグビーW杯開幕！・・・一生に一度の感動を分かちあいました。

9月20日（日）に日本対ロシア戦で開幕したラグビーW杯が大きな盛り上がりを見せる中、24日（火）には、熊谷ラグビー場で行われたサモア対ロシア戦の全校応援に行ってきました。全世界が注目する試合を、生で、そして熊谷で観戦することができました。

観戦にあたっては、夏休みに一人一人が応援旗を作成したり、5日（木）には歌手・田中美里さんを招いての国歌練習を行ったりと、サモアやロシアの選手への精一杯のおもてなしをするための準備を進めてきました。こうした東中のみなさんの思いが届いたかのように、両チームとも全力のプレーで応えてくれました。素晴らしい試合とともに、この思い出を共有できたことは、時間が経てば経つほど忘れられない財産になることと思います。

また、みなさんのおもてなしの心は、様々なメディアでも取り上げられました。これは東中の心意気を評価していただいたものです。国歌の言語がわからなくても一生懸命歌おうとする姿勢、みんなで盛り上げようとする姿勢など、東中の目指す学校「笑顔・志・本気」が形となって現れました。今回の観戦をとおして得られたものは東中の宝です。

保護者のみなさまにおかれましても、事前の準備、当日の送迎等、様々な面で御協力いただきありがとうございました。

